

まちかど 特派員のページ



こうかまちかど特派員

はたの ゆか
波多野 悠佳

キラリ輝く 地域の輪

No.24

自治振興会の
活動内容を
紹介しています

多羅尾学区 自治振興会

恵まれた自然の中で育まれた、人々の温もりを尊いものとして、あすの郷土の繁栄と、豊かな文化の創造を願って、まちづくりを進めています。

多羅尾代官陣屋跡を地域のランドマークに

多羅尾学区自治振興会では、長年非公開であった多羅尾代官陣屋跡が平成24年度に市の史跡に指定されたことをきっかけに、所有者・行政・地域の三者が協力し、史跡の保護と公開に取り組んでいます。

多羅尾代官陣屋跡とは

多羅尾代官陣屋跡は、江戸時代を通じて代官を勤めた多羅尾氏の居館・役所跡のことで、広大な敷地や石垣、庭園跡などが残り、その歴史を今に伝えています。

や修景、老朽建物の撤去を実施してきました。

また、多羅尾代官陣屋跡の価値ある史跡の保存と利活用のために平成27年4月に保存会を設立し、同年秋から一般公開を始めました。

一般公開は、春と秋の4カ月間で、団体客の受け入れ時は保存会の会員によるガイドを行っています。昨年は市内外から9団体を受け入れ、一般客も含めて今日まで多羅尾区人口の約5倍、1800人の方のご来場をいただきました。



▲保存会会員によるガイド



▲陣屋跡の環境整備

日本遺産 忍者ストーリーの1つに

4月に忍者が日本遺産に認定されましたが、多羅尾代官陣屋跡は、天正10年(1582年)の本能寺の変で本国の三河に決死の覚悟で戻ろうとした徳川家康の神君伊賀越えに際して、一族を挙げて護衛した多羅尾氏の功績を伝えるものとして、忍者ストーリーを構成する文化財の一つにも挙げられています。

今後、市の観光施設や信楽高原鐵道と連携しながら、交流人口の増加と活気あふれる地域づくりに取り組んでいきます。



▲牡丹苗の栽培

見どころたくさん

石垣、井戸の跡や北庭園の石橋など見どころがたくさんあり、秋は紅葉がとてきれいです。春も何か心を癒やしてもらえなものはないかと考え、多羅尾家の家紋にちなんだ牡丹園の開設に向けた取り組みも進めています。

「プペル」を通じて信楽の魅力を発信!

7月1日(土)から28日(金)まで信楽町長野で「えんとつ町のプペル展 in 滋賀」と「にしのあきひろ絵本原画展」が同時開催されます。私も展覧会の運営のメンバーとして参加しています。今回はこの展覧会について紹介します。

展示される絵は大きな光る絵!

「えんとつ町のプペル」とは、お笑い芸人、キングコングの西野亮廣さんが手掛けた絵本で、「プペル」はその絵本に出てくるキャラクターの名前です。

プペル展で展示される絵は絵本の9倍の大きさの自発的に光る世にも不思議な絵です。原画展では、0.03mmのボールペンを駆使して作られた超細密画が展示されます。日本各地で行われているこのイベントを信楽で開催することにしたのは、「プペル」をきっかけに信楽のことを市内外の方にもっと知ってもらいたいと考えたからです。陶器好きな人、お茶好きな人だけでなく、信楽を好きになってくれそうな人たちに向けて発信できるものが何かないか、と考えていたところに出会ったのが西野さんの絵本でした。

今回の展覧会は、運営、グッズ製作、広報などなどの権利を私たち実行委員に委託されています。

10年後のお客さんを作りたい

今回の展覧会に来たからといって、すぐに信楽や甲賀市にとってのお客さんになってはもらえないかもしれません。それでも、「信楽」や「甲賀市」という場所があること、

いいものがある土地だと知ってもらえる機会になると思います。これは例えば10年後、20代の方が30代になった時、30代の方が40代になった時に強みになると思っています。10年後のお客さんを作りたいのです。

信楽の「55age」もたぐわん

今回のイベントは信楽のいろいろな方にたくさん協力をいただき、信楽のいいものに触れられるグッズを製作いただきました。プペルの世界観を再現した信楽高原鐵道(SKR)の陶製切符、気軽に土産として買える朝宮茶、楽しみながら信楽焼にふられる箸置のガチャガチャ。地元の子どもたちにも地元の魅力を再発見してもらえような機会を作りたいです。「ここだからこそできること」があることを、知ってもらえるとうれしいです。

ぜひ、展覧会にお越しいただき、「プペル」の世界観を楽しんでください。そして信楽の「いいもの」にたくさんふれてみてください。



▲SKRの陶製切符

▼SKRのラッピング列車



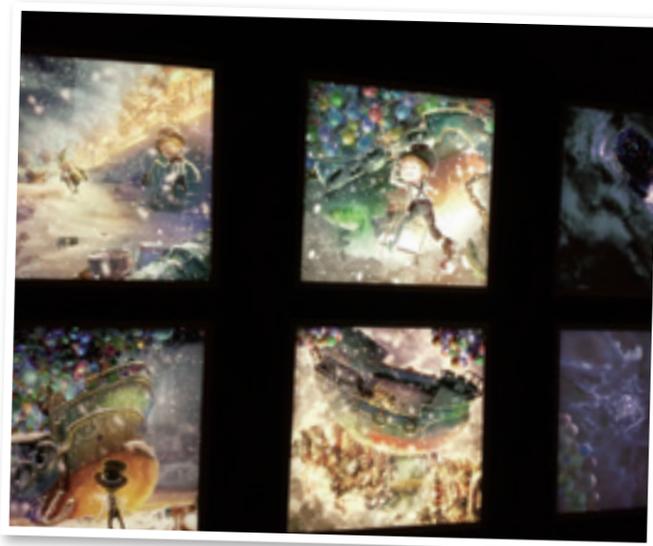
えんとつ町のプペル展
日時：7月1日(土)～28日(金)
10時～17時
場所：文五郎倉庫
ギャラリー

**にしのあきひろ
絵本原画展**
日時：7月1日(土)～28日(金)
10時～17時
場所：FUJIKI
(旧藤喜陶苑)



▲朝宮茶

えんとつ町のプペル展in滋賀
実行委員会
TEL 60-5932
<https://poupelle.jimdo.com/>



▲プペル展で展示される絵

多羅尾学区自治振興会(多羅尾地域市民センター内)
TEL 85-0001 FAX 70-0030